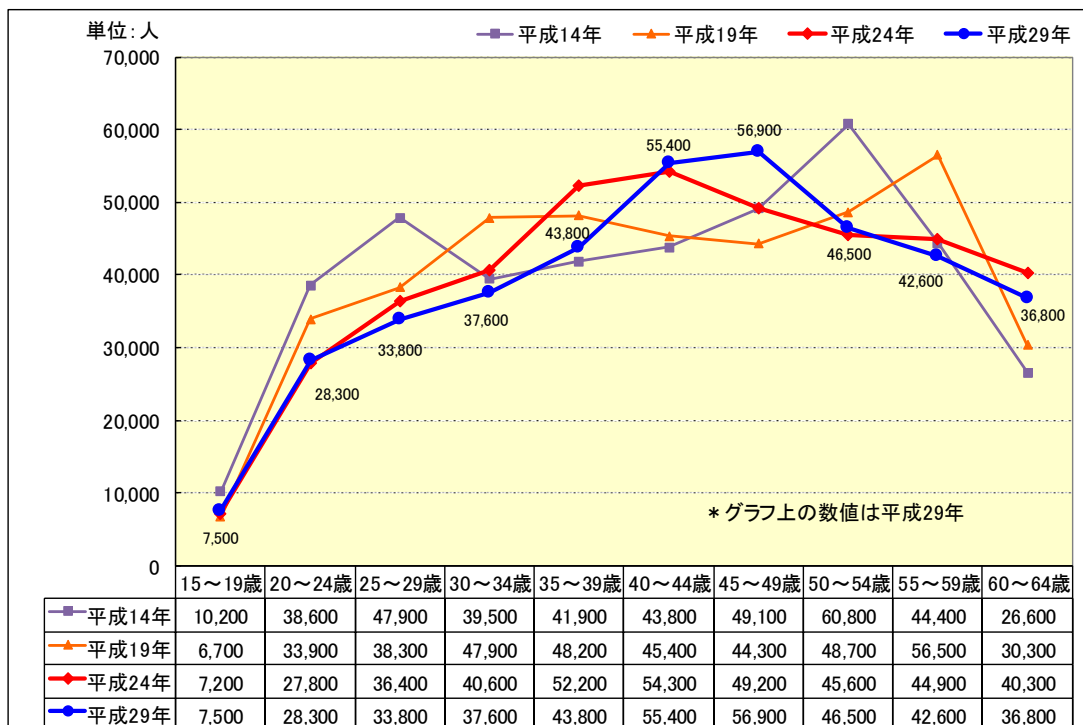


第3章 就業分野における男女共同参画

群馬県の女性の年齢別有業率は、かつて30歳代前半に見られた落ち込みがほぼ解消され、いわゆるM字型から台形へと移行した。しかし、「4. 男女別年齢階級別雇用形態」と照合してみると、M字の底の上昇には、当該年齢層の女性の非正規雇用者の増加が影響していることが伺える。

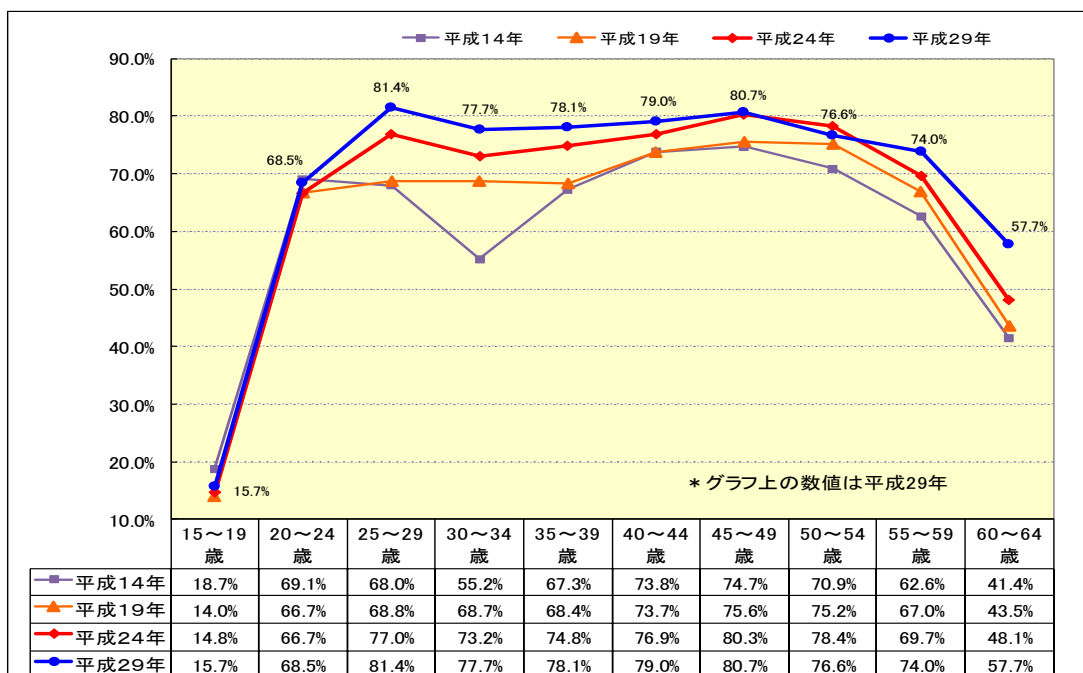
一般労働者の男性を100とした場合、女性の所定内給与は74.2(令和2年)で、同年の全国値74.3とほぼ同水準である(厚生労働省「賃金構造統計調査」)。平成23年の71.8に比べるとその差は縮まってきたものの、なお男女格差がある。所定内賃金の水準は企業規模が大きいほど高い傾向にあるが、どの規模の企業群にも所定内賃金の男女差が見られる。

1. 女性の年齢階級別有業者数の推移(群馬県)



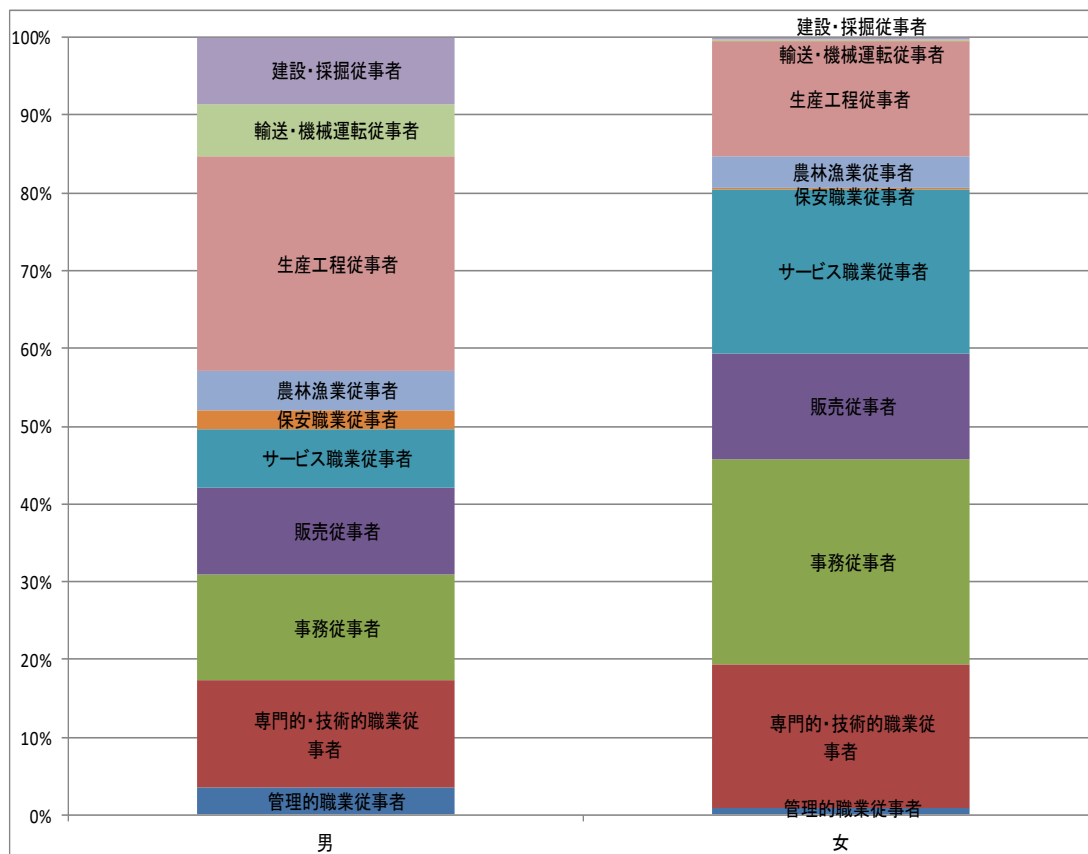
(備考) 1 総務省「就業構造基本調査」より作成
2 各年10月1日現在

2. 女性有業率の推移(群馬県)



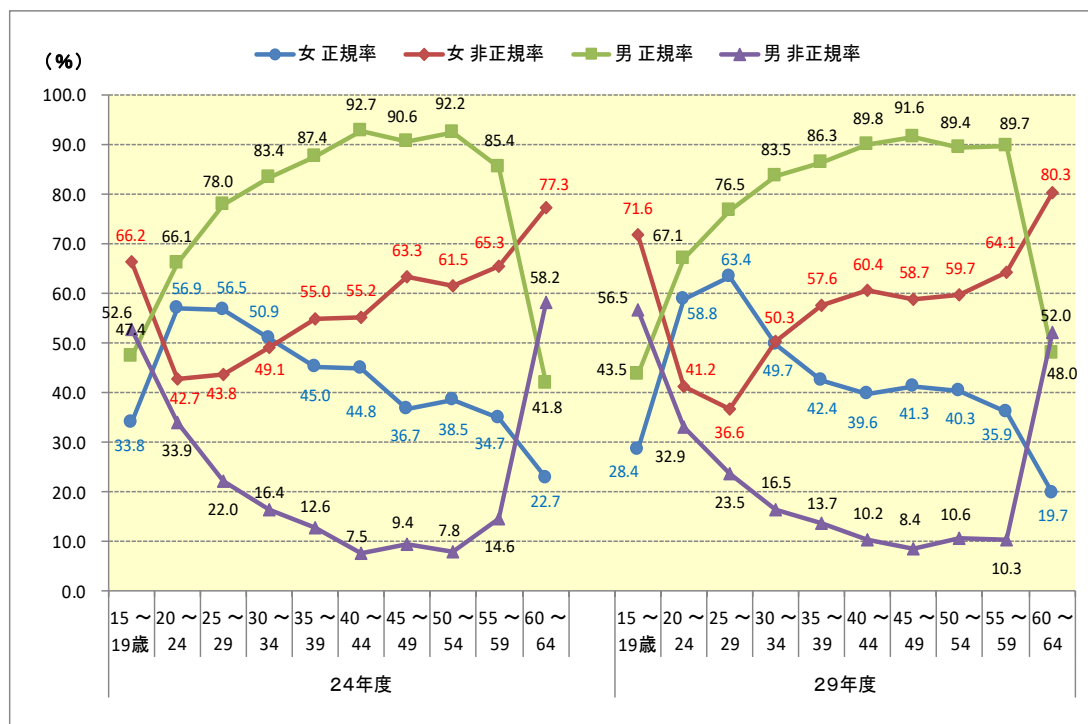
(備考) 1 総務省「就業構造基本調査」より作成
2 各年10月1日現在
3 有業率=年齢階級別女性有業者数÷年齢階級別女性数

3. 男女別職業構成(群馬県)



(備考) 総務省「平成29年就業構造基本調査」より作成。

4. 男女別年齢階級別雇用形態(群馬県)

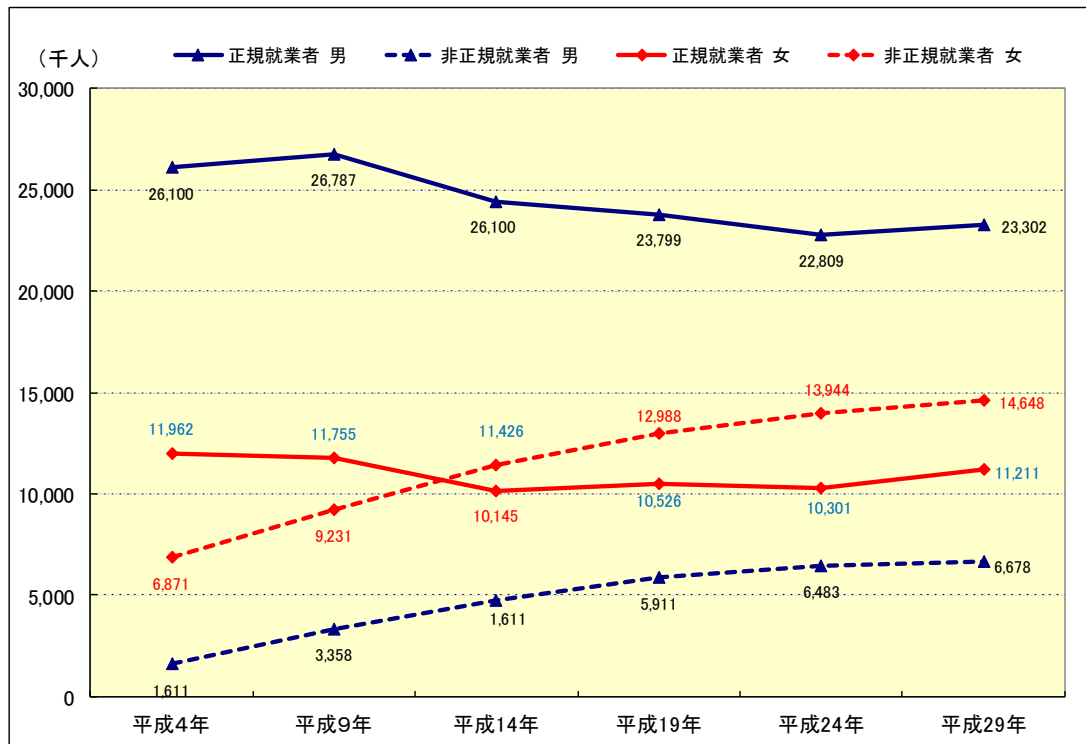


(備考) 1. 総務省「就業構造基本調査」より作成

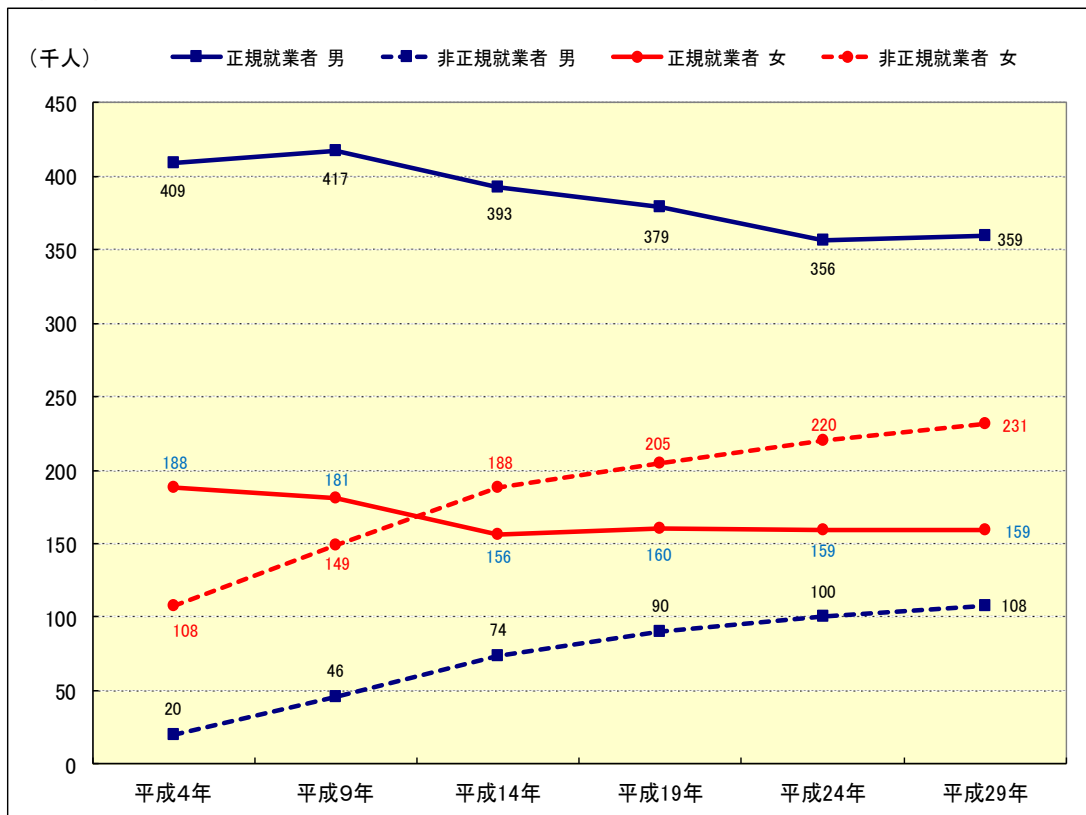
2. 男女別正規率: 男女別正規従業員数 ÷ 男女別雇用者総数、
男女別非正規率: 男女別非正規従業員数 ÷ 男女別雇用者総数

5. 雇用形態の推移

<全国>



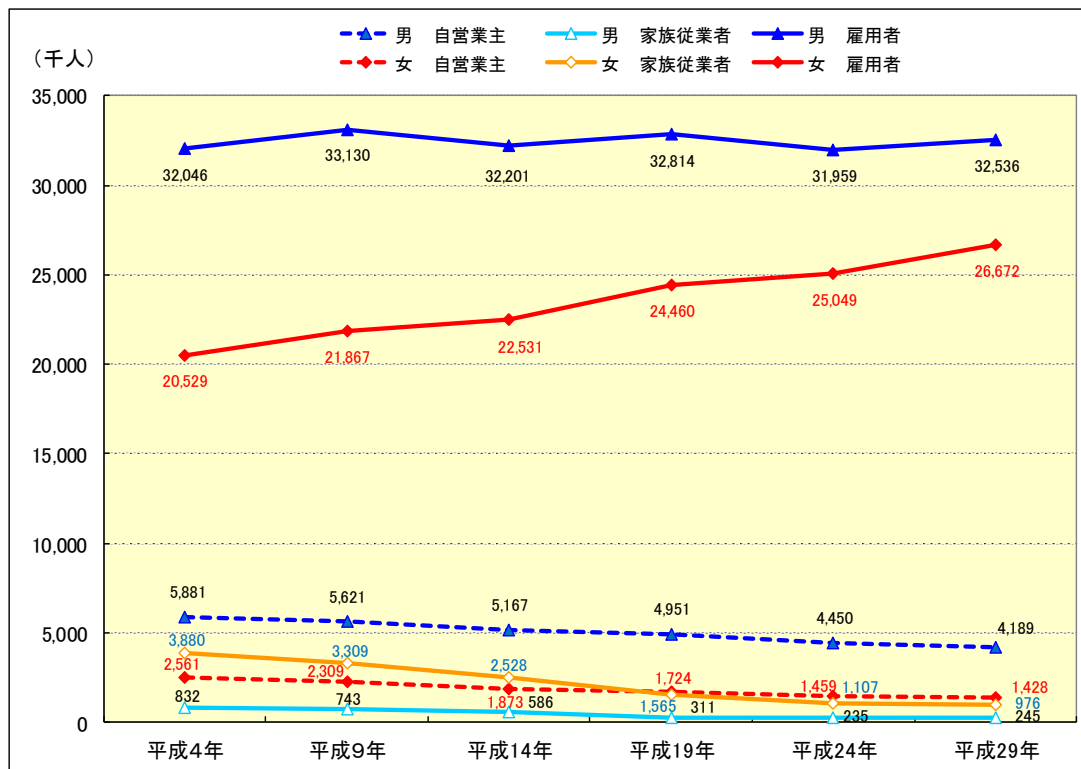
<群馬県>



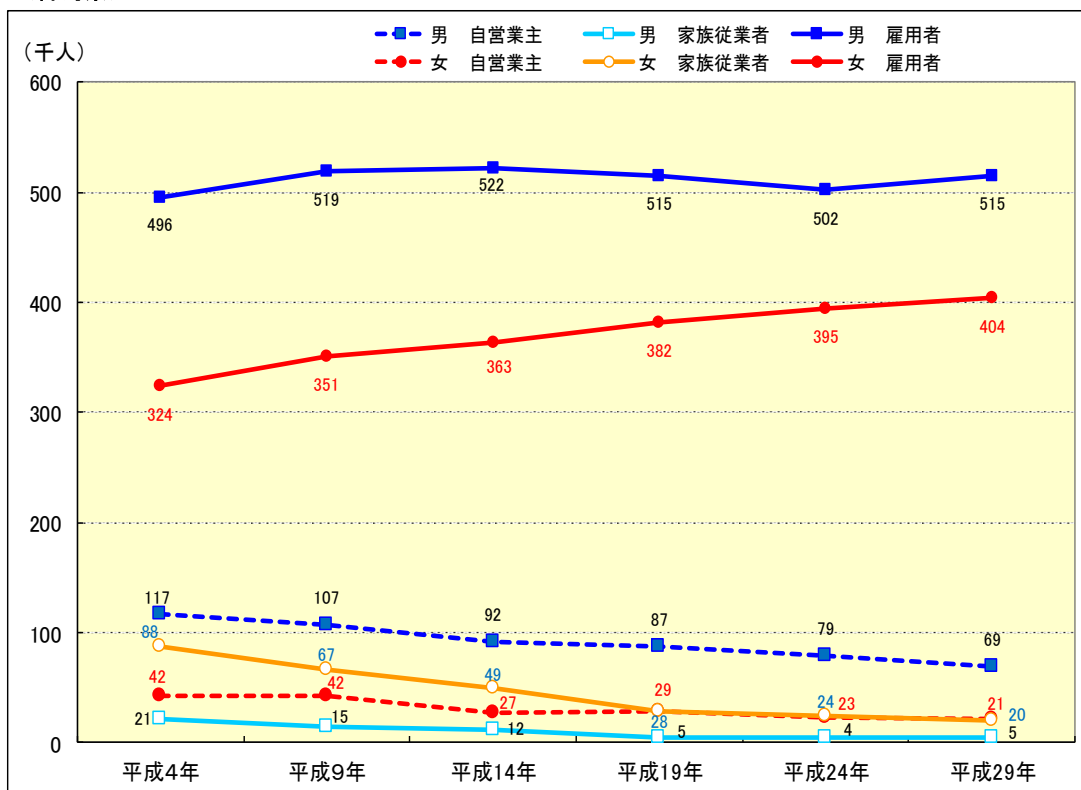
(備考) 総務省「就業構造基本調査」より作成

6. 就業者の従業上の地位別構成比の推移

<全国>

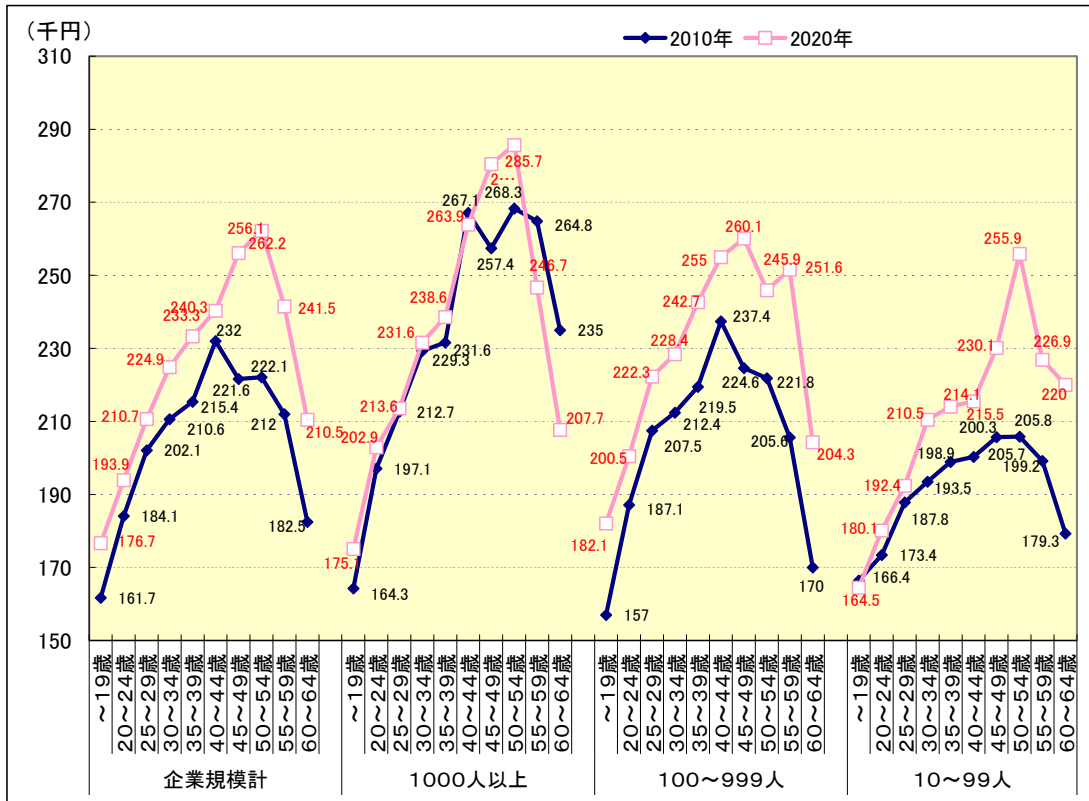


<群馬県>



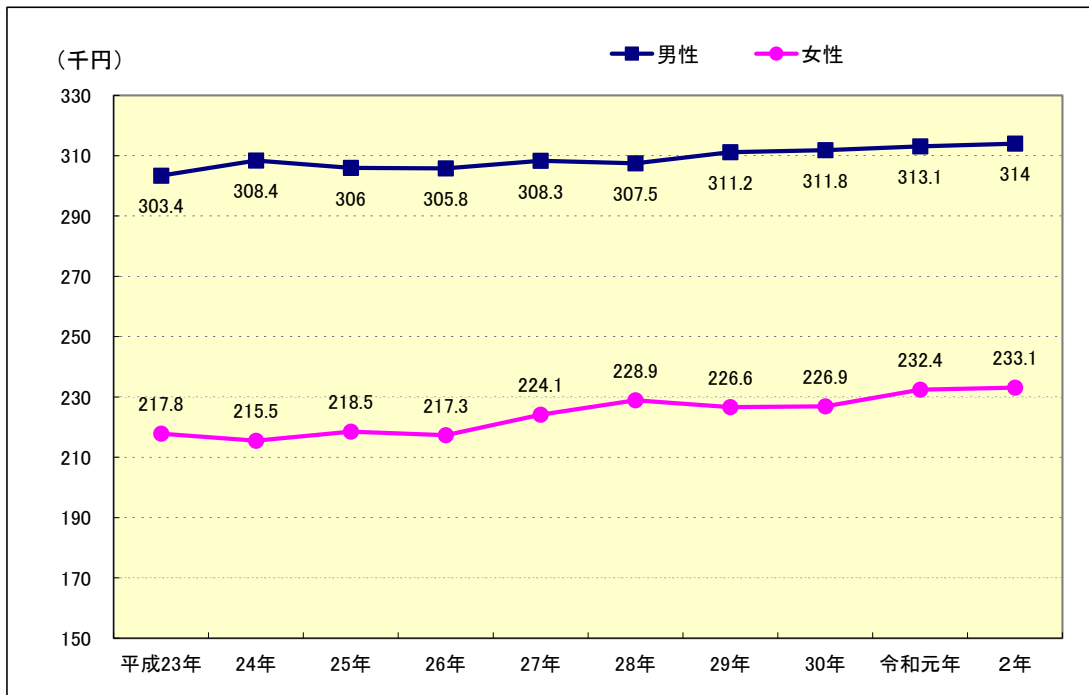
(備考) 総務省「就業構造基本調査」より作成

7. 女性の企業規模別年齢階級別所定内給与の推移(群馬県)



(備考) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より作成。

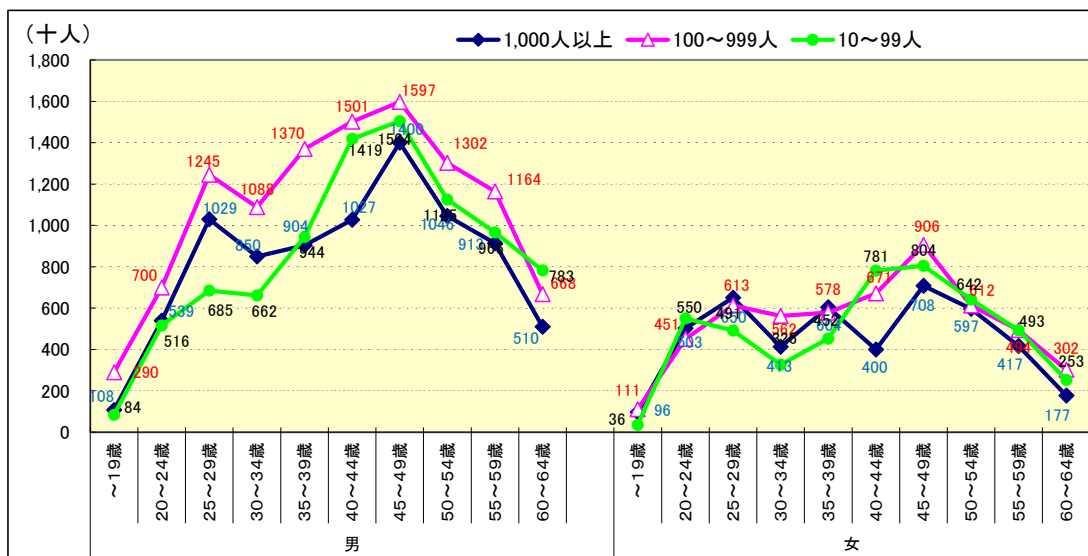
8. 男女別所定内給与の推移(群馬県)



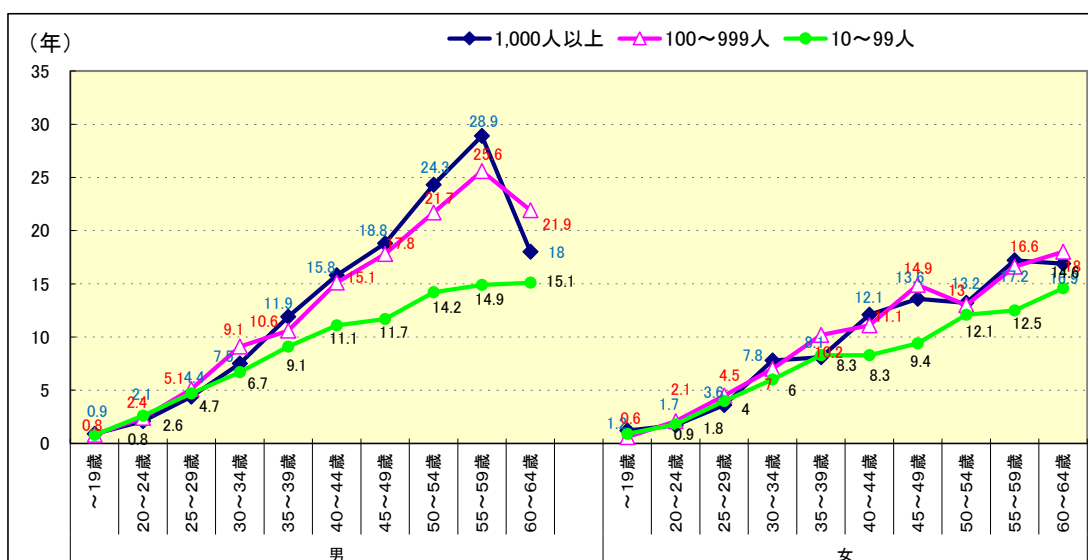
(備考) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より作成。

9. 企業規模別男女別の推移(群馬県)

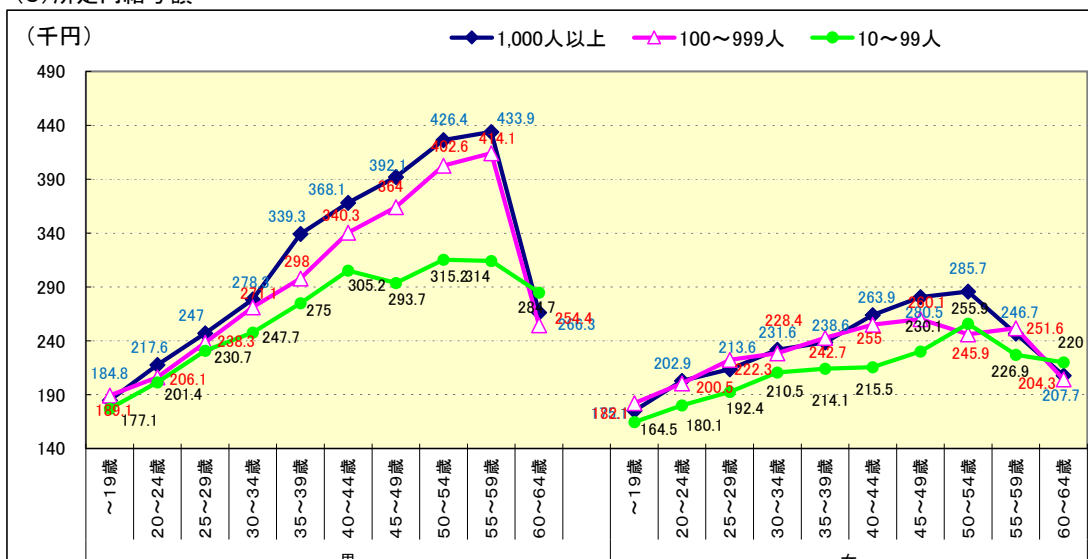
(1) 労働者数



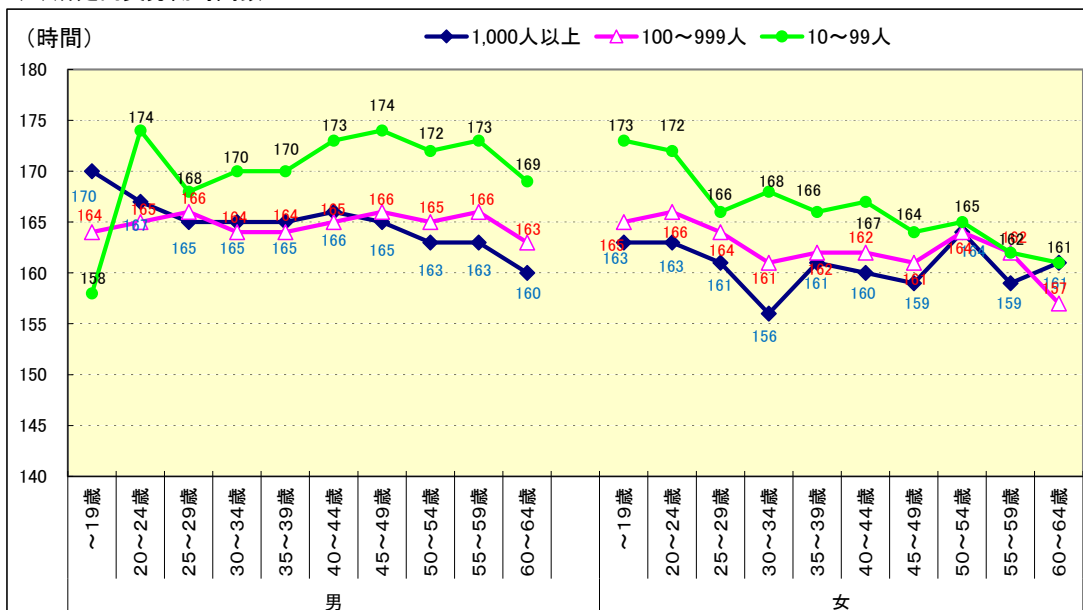
(2) 勤続年数



(3) 所定内給与額

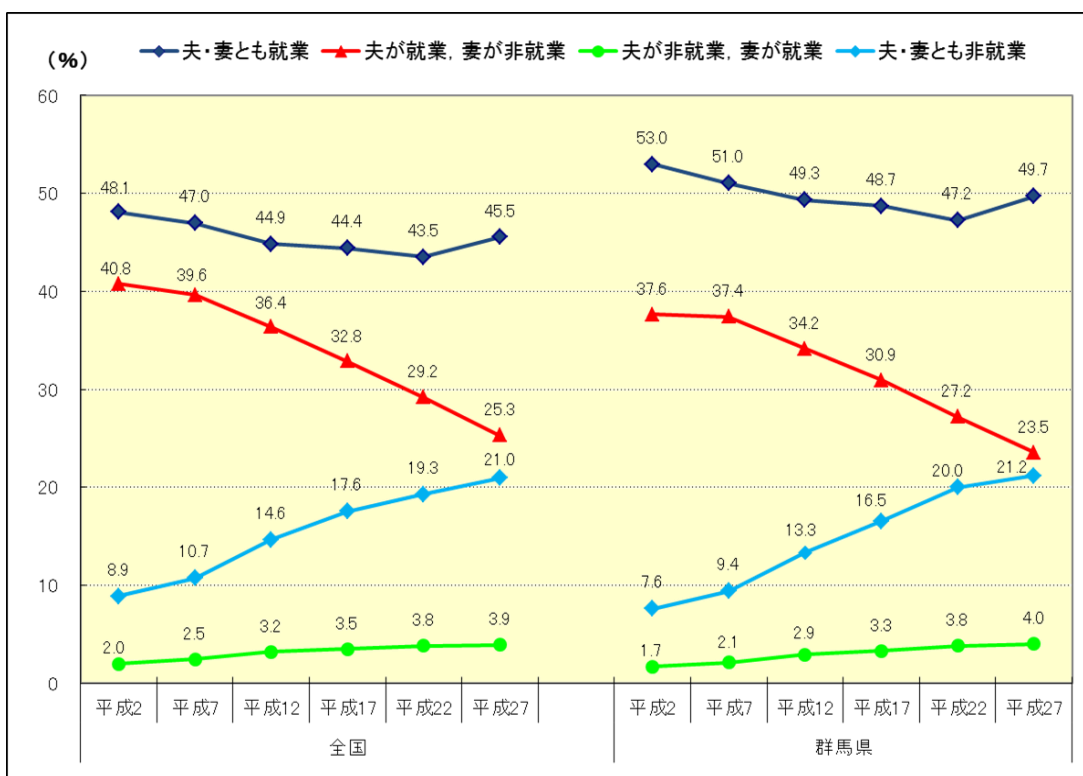


(4) 所定内実労働時間数



(備考) 厚生労働省「令和元年賃金構造基本統計調査」より作成

10. 夫・妻の就業状況の推移



(備考) 総務省「国勢調査時系列データ」より作成。